

スタンダードチャータードPLC - 2026年度第1四半期の業績

別段の注記がない限り、すべての数字は報告ベースで表示されており、比較の対象は 2025 年度で為替変動の影響を除いたベースとしています。

ビル・ウィンターズグループ最高経営責任者は次のようにコメントしました。

「2026 年第 1 四半期は、ウェルスソリューションとグローバルバンキングにおいて二桁成長を達成し、過去最高の業績を記録しました。地政学的な緊張の高まりや世界経済の不確実性が続く中でも、当行の優位な市場プレゼンスと規律あるリスク管理により、堅調な業績を維持できると確信しています。当行グループはお客様による国境を越えたビジネスや資産の管理を引き続き支援していきます。来月開催予定の投資家向けイベントでは、今後の成長戦略についてご説明いたします。」

26 年度第 1 四半期の業績の概要（別段の注記がない限り、比較の対象は 25 年度第 1 四半期）

- 営業収益は9%増収の59億ドルと、四半期ベースで過去最高を更新しました。
 - 純金利収入¹（NII）は1%増の29億ドルとなりました。
 - 非純金利収入¹はウェルスソリューションやグローバルバンキングなどが原動力となり、16%増の30億ドルとなりました。
 - ウェルスソリューションは四半期最高となる32%の増収で、インベストメントプロダクツとバンカシュアランスにおいて好業績を達成しました。
 - グローバルバンキングは、組成額の増加および資本市場取引の増加により、19%の増収となりました。
- 営業費用は、効率性の向上で一部相殺されたものの、事業成長に向けて対象を絞った投資により、1%増の31億ドルとなりました。
- 信用減損は7,900万ドル増の2億9,600万ドルでした。これは、経営判断に基づき、中東紛争の影響による損失に備えて計上した1億9,000万ドルの追加引当金が大部分を占め、コーポレート&インベストメントバンキング（CIB）の戻入と回収、ならびに他の追加引当金の減少により一部相殺されました。
- 税引前利益は、為替変動の影響を除いて、過去最高となる17%増の25億ドルでした。
- 有形株主資本利益率（RoTE）は、260bp上昇して17.4%になっています。
- 当行グループのバランスシートは引き続き健全で流動性が高く、十分に分散されています。特別要因調整後の顧客向け融資残高は前四半期比3%増加し、特別要因調整後の顧客預金の残高は同3%増加しました。
- リスク・アセット（RWA）は2025年末時点から82億ドル増の2,660億ドルで、信用リスク・アセットが53億ドル増、市場リスク・アセットが30億ドル増、オペレーショナル・リスク・アセットがほぼ横ばいとなりました。
- 当行グループは引き続き盤石な自己資本を有しており、普通株式等Tier 1（CET1）比率は13.4%で、自社株買いの影響に相当する58bpを除くと、前四半期比16bp低下しました。
- 1株当たり利益は前年同期比17.6セント（31%）増加して74.2セントとなりました。
- 1株当たり有形純資産額は前年同期比159セント（10%）増加して17.20ドルとなりました。

ガイダンス

2026 年度のガイダンスは以下の通り、変更はありません。

- 報告ベースの営業収益の前年比増収率は、為替変動の影響を除いたベースで5~7%の範囲の下限前後と予想されます。
 - このうち、純金利収入¹は、為替変動による影響を除いたベースで前年比ほぼ横ばいと予想されます。
- 報告ベースの費用は、フィット・フォー・グロス・プログラムの最終年の費用を含め、為替変動の影響を除いたベースでほぼ横ばいと予想します。
- 法定RoTEは、12%を上回ると予想します。

1 純金利収入および非金利収入は、トレーディング勘定の資金調達コスト、トレジャリー勘定の為替管理業務、ならびにトレーディング業務およびプライムサービス業務で預かり受けた担保金の利息に関して調整しています。

【本資料は、2026年4月30日付で発表された Standard Chartered PLC Q1'26 Results（一部抜粋）の日本語参考訳です。】

スタンダードチャータードPLC - 2026年度第1四半期の業績

他の通貨を指すと明記されている場合を除き、本資料内の「ドル」という語または「\$」の記号は米国ドルを指し、「セント」という語または「c」の記号は1ドルの1/100を意味します。

本資料内で文脈上別段の解釈が必要な場合を除き、「中国」は中華人民共和国を指し、本資料においてのみ、香港特別行政区（香港）、マカオ特別行政区（マカオ）および台湾は含まれません。「韓国」は大韓民国を指します。

本資料内の表において、空欄は数値が開示されていないこと、ダッシュは数値がゼロであること、「nm」は数値が僅少であることを示します。

スタンダードチャータード PLC はイングランドおよびウェールズにおいて設立された有限責任会社であり、ロンドンに本社を置きます。当行グループの本社は、ガバナンスおよび規制基準に関する助言を提供しています。スタンダードチャータード PLC の株式の銘柄コードは、HKSE 02888 および LSE STAN.LN です。

【参考訳に関するご留意事項】 この資料は、スタンダードチャータード銀行東京支店（以下、「当行」と言います。）が、お客様の便宜のために、英語その他の言語の情報を日本語に翻訳し、提供させていただいております。従いまして、当行は、この資料に記載された情報につきまして、独自の検証を行っておりません。専門用語のみならず、翻訳の正確性も保証しておりません。英文資料が正文であり、英文資料と翻訳との間で齟齬がある場合には、英文資料が全てにおいて優先します。

損益計算書

	2026年度 第1四半期 (百万ドル)	2025年度第1四 半期 (百万ドル)	増減 ¹ %
業績 ⁷			
営業収益	5,902	5,379	10
営業費用	(3,140)	(3,046)	(3)
信用減損	(296)	(217)	(36)
その他減損費用	(2)	(15)	87
関連会社利益	(14)	2	nm
税引前利益	2,450	2,103	17
税金	(540)	(511)	(6)
当期利益	1,910	1,592	20
親会社株主に帰すべき利益	1,900	1,590	19
普通株主に帰すべき利益 ²	1,660	1,357	22
普通株主有形資本利益率 (%)	17.4	14.8	260bps
費用収益比率 (%)	53.2	56.6	340bps
純資金利ざや (%) (調整後) ⁶	2.05	2.12	(7)bps
バランスシートと資本			
総資産	972,907	874,446	11
総資本	54,685	52,468	4
普通株主に帰すべき平均有形株主資本 ²	38,602	37,165	4
顧客向け融資残高	293,561	281,788	4
顧客口座	542,223	490,921	10
リスク・アセット	266,186	253,596	5
総自己資本	52,759	53,111	(1)
総自己資本比率 (%)	19.8	20.9	(112)
普通株式等Tier 1	35,616	35,122	1
普通株式等Tier 1比率 (%)	13.4	13.8	(47)
預貸率 (%) ³	51.1	51.8	(1.4)
流動性カバレッジ率 (%)	151	147	2.8
レバレッジ率 (%)	4.6	4.7	(10)bps
普通株式1株当たりの情報			
1株当たり利益 ⁴ (セント)	74.2	56.6	31
1株当たり純資産額 ⁵ (セント)	2,001	1,806	11
1株当たり純有形固定資産額 ⁵ (セント)	1,720	1,561	10
期末時点の普通株式数 (百万株)	2,229	2,384	(7)

1 資産、負債、リスク・アセット以外について、「増減」は改善/ (悪化) を示します。総自己資本比率 (%)、普通株式等 Tier 1 比率 (%)、純資金利ざや (%)、預貸率 (%)、流動性カバレッジ率 (%)、レバレッジ率 (%)、費用収益比率 (%)、普通株主有形資本利益率 (%) については、増減は増減率ではなく、二時点間のベースポイント (bp) の差を示しています。

2 「普通株主に帰すべき利益 (損失)」は、非累積償還優先株、および株式に分類されるその他 Tier1 (AT1) 資本証券の保有者に対する支払配当を控除した後の数値です。

3 本比率の算出にあたっては、「顧客向け融資残高」の総額には、リバース・レボ契約等担保付貸出金、およびストレス時に返済可能と確認された、中央銀行に保有された承認済みの残高を含みませんが、「損益を通じて公正価値 (FVTPL) で保有される顧客向け融資残高」は含みます。総顧客口座数は、FVTPL で保有される顧客口座を含んでいます。

4 利益を基本的加重平均株式数で割った数値です。業績は報告対象期間終了までの3か月間のものであります。

5 期末時点の純資産額、純有形固定資産額および株式数により算出した数値です。

6 「純資金利ざや」は調整後の純金利息収入を平均利付資産額で割り、年率換算した数値です。

7 本中間財務報告書における「業績」とは、英国において採用されている国際会計基準および国際財務報告基準に基づいて報告される金額を意味します。